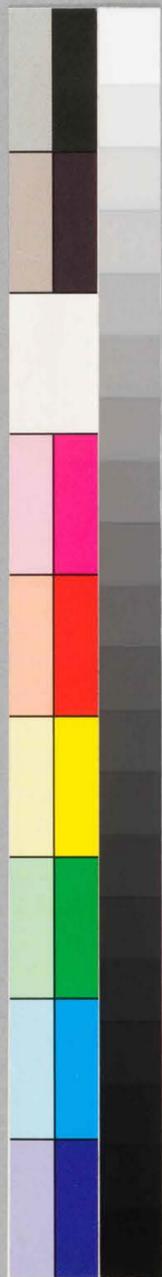




15
16



類證辨異全九集卷之六

婦人門

夫婦人ハ色慾ヲタシム事丈夫ヨリモヲ、レ况ヤ又慈悲愛
憎嫉妬憂恚抑鬱メミツカラトクルコトアタワスメ病ヲナス
事深固也此故ニ是ヲ男子ニ比スルニ十倍治レカタシ是ニ
ヨツテ婦人別ニ方ヲタツヨク其所因ヲオシテコレヲ治セハ
イツズシヨ善ツクシ美ツクセリ易ニ曰天地網緼トシテ萬物
化醇ス男女媾精ノ萬物化生ス或ハ比丘尼孤陰獨陽ニ
ノ佳ナランヤカクノコトク偏ナル物ハ久シク經水トキ白淫痰
逆頭風膈氣痞悶瘡黥ノ病生シ其脉ヒトリ肝脉弦ニ寸
口ニ出テ魚際ニ上ル

男子八十六ニ精通ズトイハ氏必三十二ニ娶ベシ女子ハ

十四ニメ天癸イタルトイヘトモ必二十ニメ嫁スヘシ是三十
陰陽之氣ニツタク實メ後マシワリ合スル時ハ懷妊ノ子ト
ナリイノキツヨシ

調經論

經水ハ陰血也血ハ氣ノ配タリ氣熱スレハ熱シ氣ヒユレハ寒
氣ノホレハ升ル氣クダレハ下ル氣コル時ハコル氣スメハスム氣
濁レハニコル上月ニ應ス其來ル事ツ子アリ故二月經ト名ク
血塊ト成ルハ氣ノコル也經水ノ色ウスキハ虚也紫成ハ熱
ナリ黒色ナルハ熱ノ甚シキナリミタリニテナリ來タルハ氣之
亂タル也

期ニサキタツハ血ノ熱スル故也四物黃連ヲ加テサマセ期
ヲ過レテ來ルハ血ヒユル故也當歸白朮ニテアタメヨ來
ラントスル前ニ痛ハ氣ノ滯ル也香附桃仁キタツテ後痛ハ
血氣ノ虚也當歸地黄夫經ハ血脉津液ノ化スル所也津
液ステニ絶シ熱ノタメニ乾カサレ肌肉ヤセ消シ燥渴シ血
海カレツキテヤムヲ血枯ト名ク其治法ハ胃ノ燥熱ヲ瀉シ
血ヲ補益スレハ經水自行ク

或ハ命門之脉洪數時ニ大便秘シ小便スシテ利セス經水
トチテ來ラズ是血海カレ乾ク故也血脉ヲトノエ包絡ノ
中ノ火邪ヲ除クヘシ經水ヲノツカラ行ヘシ凡陰陽ニヲカサ
レハ温藥ヲ過スヘカラス過ストキンハ益ナクメカエツテ害ヲ
生ス血ヲサマシ血ヲ和スル藥ヲ用レハ經水自ラ行ヘシ

帶下

其病ノ發スル所帶脉ノ分ヲ過ルニ有然モツツキシタダリ

下九故二帶下十云赤白八痢病ト其ヲ同ノ寒證ナク蓋赤
キハ熱小腸ニ入ル白キハ熱大腸ニ入其證頭目クラクマワリ
口舌乾キ咽利セス小便赤クシワリ大便結ノ脉實數十ルハ
皆熱也内經ニ曰少腹結熱スレハイハリニ白液ヲ出ス客熱
トトコヲリ帶脉ノ間ニ有テ白物滿溢イハリニ隨テ下ヲホク
ハ痛ス或ハフサガリ痛モアリ思想キワマリナク子カフ所エス
甚シク發メ筋癢ト成リ白蟻トナル男ハイハリニ隨テ下ル女
ハ陰之中綿々トシテ下九俗醫白帶トシテ辛熱ノ藥ヲ用
テ鬱結通セスノ病ウタクワワル熱證新ニ發テ死スル也凡
辛味ヲ君トシテ苦寒ヲ佐トシテ結ヲヒラキ温ヲ除キ熱ヲ去
氣ヲ散スヘシ

男子女子ヲ求ルノ法

婦人月水留リ氣能メ後一日二日五日夜半生氣ノ時ト
シワリ精ヲモラセハ男ヲ胎ム月信留テ後二日四日六日
夜半ヨリ前ニマシワリ精ヲモラセハ女ヲハラム 若六日ヲ
スクセハ包絡ニ新血ステニタマル故ニ精ヲモラシモハラテス
男八十六ニノ精通シ女八十四ニメ天癸イタルトイエトモハ
ヤク交合シテ精血ヲモラセハ男女トナリカク或ハ男女ヲ生
スレトモヒワツニメツタチカタシ故ニ男ノ三十女二十ヨリ後
交合メ持タル子スクヤカニ智惠モスクル也凡一生ノ間
丙丁ノ日交合スベカラズ大ニイム

父母ヲ調ル之説

女ツカレテアワクメ胎マズハ血ヲ養脾盛セヨ男虚損メ胎マ
ズハ脾ヲ盛ニシ房事ヲ節ス羸女ハ血ノ盛ナルヲ待テ嫁シ

嫁
ヲトコ
ハス

弱ヲトコハ精ノ滿ヲ待テトツク

姓者ノツハシミ持ヘキノ説

婦人モシ懷妊セハ起居動靜イカニモタハシク性情和悦シ
常ニシツカテ家ニテ耳ニ聖賢ノ美言ヲ聞眼ニ惡事ヲミス
ツツレメハ男女生メサイワイヲモタモテ命モ長ク忠孝賢明
ナラン姓者鬼ヲ食スレハ唇ノカケタル子ヲウム
狗肉ヲ服スレハコエノ出サル子ヲウム
雜魚ヲ多食スレハ子ニ瘡癬ヲ生ス
妊者ノ心氣驚ハ子必癩癩ヲヤム
母之腎不足ナレハ解顛ス
母ノ脾不足ナレハツカレヤスル也
母ノ心氣不足ナレハ子ノ神氣不足也

氣盛ニ血ヲトロフ時ハ必ハラマス

血盛ニ氣ヲトロエハ必ハラム也

妊者之脈例

左ノ三部滑大ニシトキハ男子ナルベシ

右ノ三部滑大ニシトキハ女子ナルベシ

少陰ノ脈動メ甚ハ妊也

手ノ少陰心血ヲツカサトル足ノ少陰ハ腎精ヲツカサトル

血ト精ト交リ合メ胎ム故也

脈動メ産門ニ下ルハクワイニン也

尺脈ノ外ニ出ルヲ名ツケテ産門ト云也

陰部ニ陽脈ヲラワルハ男子ナルベシ

陽部ニ陰脈ヲラワルハ女子ナルベシ

察胎之法

女ノ月水通セサレ事ステニ三月ヲヘテ懷妊力血塊カヲ知
サレニハ川芎火ヲ思細末ノ方寸匕熟艾ノ煎シ汁ニテ空心
ニ服スレハ胎メルモノハ腹中少ウコク血クワイニテ胎ナキ
モノハウコカス

惡阻之論

顔色如常脈和シ手足沈重ニ頭目クルメキクラク色々食
事ヲエラヒ食事ノニオイヲ惡ミ或ハスキ物ヲコノミハナハダ
シキ物ハ胃モタエ嘔吐スカロキ物ハ藥ニヨヨハズ重物ハ藥
ヲ用ヨ

胎動之論

妊者常ニ胎動シテ不安ハ衝脈任脈虛ニ胞門子宮胎ヲウ

クハト實ナラサレ故也艾葉當歸阿膠川芎黃芩香附子
ノ類ヲ證ニ隨イ可用又鯉魚葱白ヲ食スヘシ危亦林カ曰
藥毒胎ヲセメテ胃ヲツキロクイツメ物ヲイワス兩手スクミ
コラシヲニキリ頭タレ自汗シ身少熱シ中風ニ似タリ但シ
其脈浮ニノ軟キレ十死一生俗醫シラスノ中風トナシテ治スレ
ハ必ス白扁豆二兩ヲ其下ノ末ノ水ニテ調下ス即効アリ
妊者之氣水道ニ留リ虚シテ浮腫スル事アリ是只氣ヲ順
流シ脾胃ヲヤスシテ食事ニヘタテナケレハステニ産メ後
腫自消ス

孕婦冷熱不調シテ胎ヲヤフリ卒ニ痛ミ下血ス續斷艾葉
地黃竹茹之類ヲ用ヨサリナカラハヤステニ胎損シテ果テト
メテアシカレヘキヲハ紅花桃仁蘇木當歸尾ノ類ニテ下メ

ハム

治スヘシ

姓者傷寒之治伏龍肝ヲ末ノ水ニテ子ヤシテ臍ノ下二寸ニ又ルベシ乾カハ付カヘヨ又井ノソコノトロヲ心下ニ又ルヘシカワカハ又リカヘヨ

生月ニノツマハアヲカシメ藥ヲ服シテ胎ヲツマヤカニセヨ枳殼香附子ノ類ニ甘草ヲ少加テ用ヨ

産ニヨヨフ時胎ヲメラカニスヘシ冬葵子榆白皮甘草ノ類十ルヘシ

十三神吉凶之方位

雷公	正二	招搖	軒轅	咸池	豐隆	天狗	狂虎	天候	大夫	白虎
寅	三	卯	辰	辰	辰	辰	午	申	酉	戌
亥	四	辰	子	丑	未	巳	酉	巳	戌	亥
申	五	巳	酉	戌	戌	寅	子	亥	亥	子
巳	六	午	子	辰	辰	申	卯	申	子	丑
寅	七	未	酉	丑	未	酉	子	巳	寅	卯
亥	八	申	子	戌	戌	戌	卯	寅	卯	辰
申	九	酉	酉	辰	辰	申	午	巳	辰	巳
巳	十	戌	子	丑	未	巳	卯	寅	午	未
寅	十一	亥	酉	戌	戌	申	午	巳	未	申
亥	十二	子	酉	辰	未	寅	酉	亥	申	酉
申	十三	丑	午	未	丑	卯	酉	亥	申	酉
巳		午	午	未	丑	卯	酉	亥	申	酉
是ヲオカセハ 小兒イキレモ多		是ヲオカセハ 小兒ラドロク	是ヲオカセハ 小兒肚脹	是ヲオカセハ 小兒ナク	是ヲオカセハ 小兒ヲトロク	是ヲオカセハ 小兒口クイツム	是ヲオカセハ 小兒ヲドロク	是ヲオカセハ 小兒腹フクル	是ヲオカセハ 小兒嘔吐スル也	是ヲオカセハ 小兒ラドロク

運氣	功	巳	乾	坤	巽	艮	乾	坤	巽	艮	乾	坤	巽
安產	房	丙	庚	甲	壬	庚	壬	甲	壬	甲	丙	甲	丙
藏衣	房	壬	坤	丙	甲	丙	庚	丙	庚	丙	庚	丙	庚

諸曆不載
け方産婦ノ床
帳ヲ安セヨ
け方胎衣ヲ
カクスヘシ

四維圖

未	丁	午	巳	辰	卯	寅	丑
申	酉	戌	亥	子	丑	寅	卯
辰	巳	午	未	申	酉	戌	亥
子	丑	寅	卯	辰	巳	午	未

北

局方曰此日ヲオツテ産
母宜向ヘキ方
子午卯酉ノ日ハ南方ニ向ヘ
寅申巳亥ノ日ハ西北方向
辰戌丑未ノ日ハ東南方向

月空方位之例

正三五七九十月、在丙壬
二四六八十月、在甲庚
只産婦ノ床帳ヲ安シ胎衣ヲ
カクスハヨロシキノミ

婦人行年押法

十三	歲行年在庚申	坤	正七月	南	巽	辰戌日	坤首	西方	辛方	東方	甲方
十四	歲行年在己未	南	二八月	坤	西	卯酉日	南首	北方	壬方	西方	庚方
十五	歲行年在戊午	北	三九月	乾	艮	刀申日	北首	東方	甲方	西方	辛方
十六	歲行年在丁巳	東	四十月	艮	乾	丑未日	東首	西方	乙方	南方	丙方
十七	歲行年在丙辰	艮	五十一月	東	北	子午日	東首	西方	乙方	南方	丙方
十八	歲行年在乙卯	乾	六十二月	北	東	巳亥日	北首	西方	乙方	南方	丙方
十九	歲行年在甲寅	西	正七月	巽	南	辰戌日	西首	南方	丁方	北方	戊方
二十	歲行年在癸丑	巽	二八月	西	坤	卯酉日	西首	南方	丁方	北方	戊方
二十一	歲行年在壬子	坤	三九月	南	巽	辰戌日	南首	西方	乙方	南方	丙方
二十二	歲行年在辛亥	南	四十月	坤	西	卯酉日	南首	西方	乙方	南方	丙方
二十三	歲行年在庚戌	北	五十一月	乾	艮	子午日	北首	西方	乙方	南方	丙方
二十四	歲行年在己酉	東	六十二月	艮	乾	巳亥日	東首	西方	乙方	南方	丙方
二十五	歲行年在戊申	艮	正七月	東	北	辰戌日	東首	西方	乙方	南方	丙方
二十六	歲行年在丁未	乾	二八月	北	東	卯酉日	乾首	西方	乙方	南方	丙方
二十七	歲行年在丙午	西	三九月	巽	南	辰戌日	西首	南方	丁方	北方	戊方
二十八	歲行年在乙巳	巽	四十月	西	坤	卯酉日	西首	南方	丁方	北方	戊方
二十九	歲行年在甲辰	坤	五十一月	南	巽	辰戌日	南首	西方	乙方	南方	丙方
三十	歲行年在癸卯	南	六十二月	坤	西	卯酉日	南首	西方	乙方	南方	丙方
三十一	歲行年在壬子	北	正七月	乾	艮	子午日	北首	西方	乙方	南方	丙方

三十二	三十三	三十四	三十五	三十六	三十七	三十八	三十九	四十	四十一	四十二	四十三	四十四	四十五	四十六	四十七	四十八	四十九
行年																	
在辛丑	在庚子	在己亥	在戊戌	在丁酉	在丙申	在乙未	在甲午	在癸巳	在壬辰	在辛卯	在庚寅	在己丑	在戊子	在丁亥	在丙戌	在乙酉	在甲申
東	艮	乾	坤	巽	坤	南	北	東	艮	乾	坤	巽	坤	南	北	東	艮
二月	三月	四月	五月	六月	七月	八月	九月	十月	十一月	十二月	正月	二月	三月	四月	五月	六月	七月
良	東	北	東	南	西	坤	艮	乾	坤	巽	南	東	北	東	艮	乾	坤
卯酉日	卯申日	子未日	子午日	己亥日	辰戌日	卯酉日	卯申日	丑未日	子午日	亥巳日	戌辰日	酉卯日	申寅日	未丑日	午子日	己亥日	辰戌日
東首	東	東	西	西	坤	南	北	東	東	東	南	西	西	西	北	東	東
方申	方	方	方	方	方	方	方	方	方	方	方	方	方	方	方	方	方
西方	西方	南方	南方	南方	西方												
辛方	庚	方	方	方	方	方	方	方	方	方	方	方	方	方	方	方	方

臨注之調治

脉ウタ、甚弦ニソ急珠ノコトク成ハステニ産スヘキノ驗也
 其時人ニ手ヲヒカシテ取付テ静ニテリクヘシ苦クアルキ難ク
 ハ即物ニ立カカリ休ニテ又下リクヘシ直ニ腰腹相引テ甚痛
 ミ苦シキニ催生ノ藥ヲ服シ猶強ヒテ静ニテリカセヲニリサ
 メナク腰ヒタイ痛ミ早立エサレ時草藁ノ上ニ坐スヘシカエ
 スカエス早ク坐スヘカラス早ク坐スレハ子腹中ニ有テ子カ
 ヘリシガタシ直ニ陰竅ニセテリ近付ク時頭面々ダシク坐
 ノ人ニ腰ヲイダカセヨ 盛暑ノ時十ラハ奥フカク日色遠
 キシツカナル所ニ坐中ニ清水ヲタクワエ風吹ズハ窓ヲ開キ
 血暈血悶血虛發熱ノウレヒヲ除クヘシ 甚ダ寒キ時十ラ
 ハ窓ヲフキスキマノ風ヲイトイ物ヲ厚ク敷キ座中ニ遠ク

火ヲ置ク暖氣春ノコトクナラシメ衣服ヲアツクヲオヒテ胎
中寒血コリ結スルノキ様ニアツカフヘシ 既ニ産シヲワ
ハラハ童子ノ小便一盞ヲノマスヘシ眠ラシムヘカラス眠ヲ
フサキ座メシハラク有テ後シツカニ手ヲ引床ニノボスヘシ
兩ノ膝ヲ立テアヲノキ高ク物ニヨリカ、ルヘシ足ヲノヘ眠
リ熱スヘカラス頻ニヨビヨスヘシ産シ畢テ男子トテ喜ハ
シムヘカラス恐クハ紅汗ノ證トナラン女子ナリトテウレイ
ヲナサシムヘカラス恐クハ敗血ム子ヲ苦シム病ヲコラン

産ニ臨テノ吉凶

産婦ノ舌ノ色甚青キハ是其胎ノ死スル事必セリ當歸桂
心麝香榆白皮冬葵子瞿麥ノ類ニテ下スヘシ既ニ産ニノ
ツミ身ヲモク體熱シ又頻ニサムケタ舌下ノ筋青ク黒シ

産四

舌上ヒユ是ハ子必腹中ニ死シタル也唇口共ニ青クアワ
ノ出ルハ子母共ニ死ス面舌共ニ青クシキリニ口ヨリ沫出
ルハ母死メ子ハ生ルナリ
四種之産證 一ニ云ク正サントハ先頭ヲアラワシ常ノ
如ク頂也 二ニ云ク横サントハ先手ヲアラワス 三ニ云
ク倒サントハ先足ヲアラワス 四ニ云ク傷サントハ月ニタ
ラスノ産シ或ハ月ヲノフ

産脈

新産メノ脈例 既ニサシ終テ寸口ノ脈澁テハヤク調ラ
スハ死ス沈細ニメ骨ニツキ絶セサル者ハ生ク
胎衣下ラサルノ説 子生レ落テ惡血胎衣ノ中ニ流レ入
テ血ノタメニフク、故ニ下ラス奪命丹牛膝湯ノ類病ノ
輕重ヲ計テ是ヲ用ヘシ

胎衣

停
妄謔

産後謔言妄語ノ神靈ノタリ有カ如シ 一ニハサン後ニ
心虚シ敗血停積シ心ヲ侵メ謔言ス 二ニハサン後ニ臍
虚シ心驚キ神志ヤスカラスノ狂言ス 三ニハ素ヨリ風有
テ産ニヨリ心虚シ腰背強ク或ハミタリニナキウタウ 四ニ
ハサン後ニ敗血シ心經ニマヨイ亂レタラレ狂言ス 五ニ
ハサン後ニ風寒ニヲカサレ惡血ハタト留リツ、口サムク發
熱レ瘡ノ如ク晝ルハ快ク夜ハ謔言ス熱血室ニ入ガ故ナリ
右カクノ如ク成ルニハ四物湯ニ生乾地黄ヲ用テ柴胡ヲ
加ヨモシ愈スハ小柴胡湯ニ生乾地黄ヲ加ヨ
産後之浮腫 産後ニ敗血虚ニ乘レ五藏ニ停積シ經ニ
隨テナカレテ四肢ニイル漸ク手足面目ウツ腫テ水腫ニ似
タリ俗醫水腫トシテ治メ虚ヲナラ虚シ不足ヲナラ損ス

腫浮

若シ此證アラハ調經ノ藥ヲ用テ血通シ腫レ自ラ消ス
婦人之治方

調經

牛膝散婦人血トキテ通セス五心煩熱スルヲ治ス

紅花二錢 當歸 牛膝各五錢 桃仁二錢

右末ノ每服二錢空心ニ温酒ニテ下ス

牡丹散婦人月水利セス臍腹痛不食スルヲ治ス

牡丹皮 大黄各一兩 赤茯苓 生地黄 桃仁 當歸

桂心 赤芍藥 白朮各三分 石葦 木香各半兩

右剉煎メ空心ニ温服ス

艾香煎經水ヤマサレヲ治 香附子 白芍 熟艾各等分

右剉煎メ服スヘシ

四物湯之加減治法機要一アリ

熟地黄臍ノ下ノ痛ニ下ラスハ除ク事アタワレ血
ヲ補イ腎ノ經ヲ通スル藥也 川芎風ヲ治シ肝木ヲ泄
ス血虚ノ頭痛ユレニアラスハ除ク事アタワス
芍藥 血ヲ和シ經ヲオサメ脾ヲオサム腹中虚シ痛ヲ治
スル要藥也 當歸 血ヲ和ス血ノサレ痛ヲ除ク要藥也
腎ノ經ノ藥也 右咬咀メ煎メ服ス

血虚シ腹痛少汗イテ風ヲニクマハ莪朮桂心ヲ加ヨ
風證目クルメクニハ秦艽羌活ヲ加ヨ 胃イキレ發熱
レ卧ムヲ得サルニハ黃連梔子ヲ加ヨ 濕ニアタリ身
重ク少汗イテ身涼シクハ白朮茯苓ヲ加ヨ 産後虚ノ
日久シク脉浮ナラハ柴胡黄芩人參半夏ヲ加ヨ 痰ア
ルニ佳ナリ 肢節疼痛頭痛シ脉弦ニツノロサムク瘡ノ

如ナラハ防風羌活ヲ加ヨ血コミアゲ心腹脇下滿悶ス
ルニハ木香檳榔ヲ加臍ノ下虚冷シ腹痛腰せボ子モダ
ユルニハ延胡索練子ヲ加ヨ氣經脉ニミチ故ニ月水シ
キリニレゲク臍ノ下多ク痛ニハ芍藥ヲ增ヘシ月水來ン
トメ臍腹コソリ痛ハ血ノシフル也延胡索苦練子檳榔
木香ヲ加ヨ虚勞シ氣弱ク嗽シ喘滿せハ厚朴枳實ヲ加
ヨ經水黑豆ノ汁ノ如クナラハ黃芩黃連ヲ加ヨ經水ア
ラク下ラハ黃芩ヲ加夏月ニハ黃芩ヲ加ヨ經水タマク
來適メ留リ往來寒熱せハ先小柴胡湯ヲ服メ其寒熱
ヲ去リ其後四物湯ヲ用テ和スヘシ婦人ノ血積ニハ莪朮
三絛桂心乾漆ヲ加 姓者ノ傷寒下ノ後イハス錦班
ヲ發スルニハ升麻連翹ヲ加ヨ 姓者ノ傷寒留脇三チイ

夕三肝弦十ヲハ柴胡黃芩ヲ加ヨ 姪者之傷寒八便
結シ小便赤氣滿脉沈數十ヲハ大黃桃仁ヲ加ヨ 姪
者ノ傷寒汗シ下ノ後嗽ヤ、甘ルニハ人參五味子ヲ加
ヨ 姪者ノ傷寒汗シ下ノ後虚シ脹滿セハ厚朴枳實ヲ
加ヨ 姪者ノ傷寒ノ大ニ煩渴シ脉長大十ヲハ石膏知
母ヲ加ヨ 姪者ノ傷寒小便利セハ茯苓澤瀉ヲ加ヨ
姪者ノ傷寒汗下ノ後下血モリヤマスハ阿膠艾葉ヲ加
ヨ 婦人熱ト血ト相ヒタ、カツテ口舌乾渴スルニハ菴
藁麥門冬ヲ加テ用ヘシ

漏崩

如神散婦人血クヅル止ス白血長血ヲ治ス 香附子

赤方各等分 右細末ノ鹽湯ニテ服ス日ニ二度五日ニ愈シ

一方崩中下血ヲ治ス 黃芩ヲ一味細末ノ每服一錢酒

ニテ調下ス

一方 香附子ノ毛ヲ去リ炒コガシ末ノ酒ニテ調下ス米
飲モ又ヨシ許學士カ云下血ヤマス五色ノ崩漏ヲ治ス
常ニ服スルハ血ヲタスケ氣ヲ調是婦人ノ仙藥ナリ

千金方ニ崩中漏下青黃赤白ニノ孕ム事ナキヲ治ス

露蜂房 右細抹ノ温酒ニテ服ス神効アリ

香附圓婦人經脉調ラス腹痛ニ面ノ色黃ニムナサワギシ
チカラトモシク腹ノクレ脇痛ニ頭クルメキ心チアシク飲
食少ク崩漏帶下大便ニ血ヲマシヘ積聚癥瘕ヲ治ス

香附子ヲ毛ヲサリヨキ醋ニテ煮カワカシ炒末シスノ糊
ニテ丸シ米飲ニテ送下ス又氣ノ下ラサルユヘニヨリ胎
氣堅カラスノ頻ニ腹痛スルヲ治ス

下帶

益母散赤白惡露下テ止サルヲ治ス 益母草ノ花ノ開

ク時取テ陰干ニシテ末シテ食前ニ温湯ニテ下ス

逍遙散血虚煩熱シ月水調ラス臍腹脹痛スルヲ治ス又

痰嗽潮熱ヲモ治ス 柴胡 白朮 茯苓 當歸

芍藥各三錢 薄荷半錢 甘草一錢 右剉煎ソ服スヘシ

桃仁散月水調ラス淋瀝止ズ留テモ又發リ形チ水ヲ瀉ル

力如ク手足虚倦シ不食ノ腹カタク痛ニ行動シ難ク月

水或ハス、ミ或ハラツレ或ハ來ラス多ク酸物ヲ望ムヲ

治ス 桃仁 半夏 當歸 牛膝 桂心 人參

蒲黃 牡丹 川芎 澤蘭 赤芍 生地黃各一錢

甘草半錢 右剉煎ソ食前ニ服スヘシ

一方ニ一切赤白帶下ヲ治ス 香白芷一兩 海螵蛸二兩

胎髮一兩 右各黒焼ニシテ抹ソ空心ニ用ヘシ

如聖散赤白帶下年月愈サルヲ治ス

乾薑 芍藥 香附子各一兩 甘草半兩

右各炒黄ニシテ末ノ空心ニ米飲ニテ調下ス

一方ニ鹿角ヲ灰ニヤキ細末ノ食前ニ酒ニテ用ヨ

瘧

生地黄九許學士カ云獨ノ比立ニアリ風ヲ惡シ體倦シ

忽チ寒シタチマチ熱シ智モダヘ時ニ自汗シ煩フ此ノ折

節世ニ疫癘ハヤリ醫者寒熱ヲミテ傷寒トナシ大小柴

胡湯ヲ交ヘ用ルヲ數日ニシテ病甚シ予脉ヲ診メ云三部

ニ寒邪ノ脉ナシ只厥陰肝ノ脉弦長ニシテ魚際ニ外リ宜

ク陰ヲオサユルノ藥ヲ服スヘシ故ニ予此方ヲ製ス

柴胡 秦艽 黃芩各半兩 生地黄二兩 赤芍藥一兩

雜證

右末ノ蜜ニテ丸シ烏梅ノ煎湯ニテ送下ス

一方ヤモメ女ノ寒熱瘡ノ如クナルヲ治ス

參蘇飲ニ黃芩ヲ加テ服スヘシ方ハ傷寒ノ部ニアリ

犀角散婦人客熱手足煩悶疼痛シ不食スルヲ治ス

犀角屑 赤芍 地骨皮 赤茯苓 紅花 人參

枳殼 麥門冬各一錢 柴胡 黃芩各二錢 甘草半錢

右剉煎ソ服スヘシ

青竹茹湯婦人ノ病未タ平愈セサルニ勞動スルニヨリ熱氣

升テ留ヲセメ手足ヒキツリビクメキ形中風ノ如クナルヲ

治ス 青竹茹二錢 瓜蒌根兩 右剉煎ソ服ス

橘歸丸婦人ノ肌膚手足トモニ血線アルヲ治ス是レ怒氣

肝ヲヤフリ血常經ヲ失スル故ナリ 橘皮兩 當歸兩

癥瘕

右末ノ蜜ニテ丸シ空心ニ温湯ニテ下ス

三稜煎婦人ノ血癥血瘕食積痰滯ヲ治ス

三稜 莪朮各二兩 青皮 半夏 麥芽炒各一兩 右ヨキ

ス六升ニテ煮乾炒リ末メスノ糊ニテ丸メ醋湯ニテ服ス

硝石圓七癥八瘕聚結積塊赤白帶下絶産ヲ治ス

硝石三兩 大黃兩 人參 甘草各一兩 右各末メヨキス

三升銅十べノ中ニ入先大黃計リヲ入静ニ子リヘラソ

餘ノ藥ヲ入テ静ニ子リツメテ即丸ス米飲ニテ服スレハ

鳥ノキモノ如クナル物ヲ下ス風冷ヲ忌ム

女ノ陰門腫痛ハ并菊ノ苗ヲスツテ熱湯ニカキタテ、洗ヘ

一方ニ馬鞭草ヲトロリトスツテ又ルヘシ妙ナリ

陰中甚ダカユクハ蛇床子明礬ヲ煎メアラヘ

陰門之病

一方 杏仁ヲ灰ニ焼アツキ時綿ニ包テ陰中ニ入レ日ニ二
度陰門ノ脱出スルヲハ竹根ノ煎湯ニテ洗テ五倍子明
礬ヲ細抹メヒ子リカケヨ

當歸散婦人ノ陰挺下脱スルヲ治ス

當歸 黃芩各二兩 牡蠣二兩 蝟皮二兩 赤芍一兩

右末ノ食前ニ米飲ニテ調下ス

陰中ニ瘡ヲ生シ痛ニハ硫黃ヲスツテ付ヨ

一方ニハ桃ノ若葉ヲスツテワタニ包テ陰中ニ入日ニ三度

小女陰門嫁メ痛ニハ 牛膝五兩 酒一テ煎スヘシ

一方ニハ 大黃三兩 酒ニテ煎メ頓ニ服スヘシ

人參橘皮湯惡阻ノ病痰水ヲ嘔吐スルヲ治ス

人參 陳皮 白朮 麥門冬各一兩 甘草二錢 厚朴

嫁

阻惡

白茯苓各半兩 右剉竹葉ヲ入煎シ服ス

二香散姓者ノ胎中安カラス氣升降セス飲食ツマカラス

醋水ヲ嘔吐シ立居ノヲモキヲ治ス 香附子一兩

藿香 甘草各二兩 右末メ鹽湯ニ点シ服ス

升麻散姓者壅熱シ心神煩躁シ口カワキ渴スルヲ治ス

升麻 黃芩 人參 麥門冬 柴胡 梔子仁 犀角

芫蕪根 茯神各一錢 知母 甘草各半兩 右剉煎メ服ス

胎中動メ下血スルヲ治ス 熟艾 阿膠各二兩 葱白一升

右水四升ニテ煎シ一升五合ニヘラメ服ス

又方川芎二兩 葱白一升 右水七升入二升五合ニ煎三度ニ服

姓者下血止ス血モリ乾キ子死スルヲ治ス

生乾地黄ヲ末シテ酒ニテ服ス

胎動

竹茹湯ハラミテ三四月腹痛時々ニ下血スルヲ治ス

續斷八 艾葉 當歸各一 乾地黄 竹茹 阿膠

雞蘇 右剉煎シテ服ス

妊者身痛或ハ胃ヲツキ死セントシテ不食スルヲ治ス

白朮五 黃芩二 芍藥四 右キサミ煎ソ服ス

妊者誤テ藥食ニ中リ胎動シテ安カラサルヲ治ス

甘草 黑豆 淡竹葉各等 右コクセンメ服スヘシ

白朮湯妊者卒ニ心痛シテ死セントスルヲ治ス 白朮三

赤芍二 黃芩 香附子各一 右剉センメ服スヘシ

子願 妊者四月メハ少陰君火ノ氣ヲ請テ精ヲ養フ六月メハ少

陽相火ノ氣ヲ請テ氣ヲ養フ故ニ其時母驚キ膽寒テ多

ク煩悶スルヲ子煩ト名付 防風 黃芩 麥門冬各三

白茯苓四 右剉竹葉ヲ入煎ソ服ス醋物ヲイム

竹茹湯子煩ヲ治ス 淡竹ノ青茹兩 煎ノ徐徐ニ服ス

死胎 妊者之熱病胎腹中ニ死スルヲ下ニハ紅花ヲ酒ニテコク

煎シテ三盞ヲ服スヘシ

者妊 妊者之遍身大ニ腫ヲ治ス 澤瀉 葶藶各三 茯苓

枳殼 白朮各六 右剉煎ソ服ス小便利ノ即愈

胎滑 枳殼散危亦林ガ加減ノ例 枳殼兩 炒ニ 甘草一

右細末ノ沸湯ニ点シ服ス枳殼ハヨク水ヲオイ脹滿逆

氣下ク産ノ道順ニシ生シ安シ誠ニ世ヲ補事アリ

腸中ノ諸疾ヲ治シ氣ヲ下シ胃ヲ緩クスルニハ香附子ヲ

炒テ毛ヲサリ加ヨ 冷氣セメ腰脇痛ニハ葱白湯ニテ

吞ヘシ 脾ヒ血氣カタマリ痛ハ温酒ニテ下ス

難産

大便秘澁セハ防風ヲ加ヨ 身體弱ニハ當歸ヲ加ヨ
 胎肥テ塞リ立居成難キニハ乳香髮灰ヲ加テ産シ安シ
 二便通セスハ白牽牛ヲ末ノ加テ熱湯ニテ調下ス
 榆皮散泄者是ヲ用レハ胎ヲナメラカニシ生レ安シ
 榆白皮 茸草各二兩 葵子一兩 右剉煎ノ服ス
 神應異散最モ難産ヲ治ス 夫横産逆産ノ如キンハ草蓼ワラ
 ニハヤツ坐レテカラヲ盡シ息ハリ過シ見未タ子ガヘリセ
 サルニトアケ先ナカレ其血カワク故ニ或ハ手ヨリ生レ或
 ハ足ヨリ生レ難産ニ及フ 養生方ニ曰クシハラクノ間
 兩命ノカ、ル所深ク慎シムヘシ此藥是ヲスツフ難産ノ
 時水血先下レハ舟ノ灘ニ居ツツカ如シ 苜蓿百草ノ
 霜ニテフク再ヒ其血ヲ生レ魚ノ水ヲ得テ自由ナルカ如シ

再

衣胎

白芷百草霜分等 右細末ノ二錢童便トヨキスヲ合調下ス
 葵子湯横生逆生ヲ治ス 明阿膠炒 滑石各一兩
 葵子合二 右水一盞半煎ノ一盞ニ至リ二度ニ服ス
 難産日ヲヘテ生レサレヲ治ス 雲母粉半兩澄過而爲細末
 右温酒ニテ服ス藥口ニ入ハ即産ス不順下ル
 モ即直ニ生レ也何徳揚スデニ五千人ヲスクフ
 龍蛻散生ヲモヨオス 蟬退一兩燒存性 大蛇蛻一條燒存性
 滑石五錢 葵子兩 右末ノ一錢順流水ヲ温テ調下ス
 千金方ニ難産ヲ治スルニ皂角子二粒ヲノムヘシ
 牛膝湯胎衣出ス臍腹堅脹シ急痛スルヲ治メ胎衣爛下ル
 牛膝 瞿麥各四兩 當歸三兩 通草六兩 滑石八兩
 葵子五兩 右剉煎ノ服ス

喘
口
二

奪命丹衣中ノ血ヲ去リ血散ノ脹消シ胎衣自ラ下ル
附子炮 牡丹皮 乾漆燒盡 右細末メス一升大
黃ノ末一兩炒テ膏トナシ藥ヲ和シ丸メ温酒ニテ下ス
危亦沐リ奪命丹專ラ産ニ及ビ多ク血ヲ下シ子腹中ニ死
シソ、口サムク唇口井ニ爪青ク白シ面黄ニ黒シ或ハ胎コ
ミ上脛闊絶シ死セントメ冷汗自ライテ喘滿スルヲ治ス或
ハ毒物ヲ食シ胎氣ヲ動メ下血留ラス胎ナヲ未タ損ゼスハ
是ヲ服メ胎ヲ安スステニ死ノ是ヲ服スレハ即下ル
牡丹皮骨去 白茯苓 桂枝皮去 桃仁去皮尖 赤芍各等分
右抹メ蜜ニテ丸メウスキ醋湯ニテ下ス類ニ一服ヲ用シ
ハ胎腹中ニ爛レテヤウキ物モ又下ル
一方胎衣ノ下ラサルヲ治ス

血暈

牛膝一兩 葵子一合 右剉ラロシ煎メ服ス
一方胎衣ノ下ラサルヲ治ス 紅花一兩 コク酒ニテ煎メ用
危亦林カ云テサニ産メ即酒ヲノムヘカラス酒ヲ用テ藥ヲ
用レハ酒五藏手足ニ惡血ヲ引ハシツテ百病トナル凡
諸藥只水ヲ用テ煎スヘシ三五日ノ後ハ少酒ヲ用モ吉
産後ニ血暈シ狂言煩渴スルヲ治ス
生香附子毛ヲサリ末レ生薑ヲ入煎メ服ス
一方ニハ生赤小豆ヲ細末メ東流水ニ和シ服ス
清魂散産後ニ血暈メ目クラク人ヲ知ラサルヲ治ス
乾漆ヲ燒キ鼻ニ其煙ヲカ、セヨ又房中ニ炭火ヲオコシ
吉醋ヲ懸テ其ノ匂ヲカ、セヨ其次ニ此藥ヲ用ヘシ
荆芥兩 川芎二兩 澤蘭葉 人參一兩 甘草

風中後産

右細末ノ白湯ニテ調下ス

羌活湯産後ノ中風身背拘急シ渴スルヲ治ス

川芎 羌活 羚羊角 酸棗仁 芍藥各四兩

桑白皮六分 防風五分 右剉センノ温服スヘシ

當歸散産後ノ中風ノ人事ヲ顧ミス口ニ涎ヲハキ手足ビ

クメクヲ治ス 當歸 荆芥各等分

右末ノ煎シ酒少し計リ入テ一沸ノ服ス

續斷湯産後七八日惡露止サルヲ治ス

當歸六分 芍藥 續斷各八分 竹茹各四分 生地黄炒乾二分

右剉センノ空心ニ服ス

返魂丹産後惡露絶セサルヲ治ス 益母草四五月採陰乾用葉及子

右抹ノ丸シ米飲ニテ下ス

絶不露惡

仁母散産後惡露分リセメ流テ肺經ニ入咳スルヲ治ス

知母 貝母 人參 桃仁 杏仁并用

右等分剉煎シ食後ニ服スヘシ

蘇參湯産後ニ血肺ニ入面黒ク喘ヲ發シ死セントスルヲ治

人參半一兩 蘇木二兩

右蘇木ノ煎汁ニテ人參ノ末ヲ調下ス

蒲黃散産後ニ惡露多ク下ラサルヲ治ス

牛膝 大黃各四分 牡丹 當歸各六分 芍藥 蒲黃

桂心各四分 右末ノ生地黃ノ汁ニ酒ヲ加テ調下ス

桃仁散産後下血盡ク腹内堅ク痛キヲ治 當歸 芍藥

桂心各二兩 桃仁百二枚 右剉煎シ服ス未愈ハ大黃三兩 加

枳朮湯産後ニ心腹堅ク大ニ盤ノ如ク水飲ノナス所ヲ名

下不露惡

痛腹後産

脹腫

産後之痢

付テ氣分ト云 枳實^一 白朮^二 右剉煎ノ服ス
一方サン後ニ虚浮レ手足少シ腫ルヲ治ス

橘皮ヲ抹メ酒ニテ調下ス

黄連丸サン後ニ冷熱ノ痢ヲ治ス 黄連^六 烏梅^三

乾薑^二 右末メ丸シ米飲ニテ下ス 猪肉ヲ忌ム

一方サン後ノ諸痢ヲ治ス 薤白ヲ煮テ食スヘシ

戊己丸産後ノ腹痛瀉痢米穀化セサルヲ治ス

黄連^三 吳茱萸^一 白芍藥^二

右末メ麩ノ糊ニテ丸シ空心ニ米飲ニテ下ス

妙授散サン後ノ遺尿ヲ治ス

右ギ燕ノ窠ノ中ノ草ヲ焼テ末シ酒ニテ服ス

産寶ニサン後ノ小便絶ヘサルヲ治ス

遺尿

乳汁

雞屎ヲ灰ニ焼テ末メ空心ニ酒ニテ服ス

三因ニ曰乳汁出テサルニ二ノ分別アリ氣血盛ニシテ壅閉

メ出テサルモアリ通草瓜蒌ヲ用ヘシ又氣血衰弱メ溢

テ出テサルモリ鍾乳猪蹄鯽魚ヲ用テ治スヘシ

産書ニ曰乳汁ヲ出サント思ハアツキノ葱ヲ吞ヘシ

産寶ニ曰産後ニ乳汁乾キシフルニハ栝樓根ノ末一刀圭

井花水ニテ服スレハ三服ニテ乳汁ナカレ出ツ

小兒門

夫小兒ヲハ醫門ニ啞科ト云疾痛ノモノ云ス精神ナラ全
カラス形聲猶ヲ未ダ正シカラス脉理ナラ未ダ全カラス此
故ニ療治シ難シ況ヤ藏府ノ虚實更ニ變易スルヲ掌ヲ反
スルガ如シ主治苟クモ毫髮ノ誤チ有ハ千里ノ隔リヲ至ス

實虛

五藏虛實之病證

心ハ主驚

實スレハナキサケビ熱ノ水ヲノミ手足ビクメク
虚スレハクタヒレ卧シムナクワキ動メ安カラス

肝ハ主驚

實スレハ目ミハリサケヒクヒ項引ツリ煩悶ス
虚スレハ齒ギシミヲシ多クアクヒヲナス

脾ハ主困

實スレハクタヒレイ子ムリ熱メ水ヲノム
虚スレハ吐瀉シテ風ヲ生ス

肺ハ主喘

實スレハ悶亂喘促シ水ヲノムモ有ノマ又モアリ
虚スレハムセヒ長ク息ヲ出ス

腎ハ主虚

實スレハフナシ只瘡疹ノ時腎實スレハ黑陷ム
虚スレハ目明ナラス身重シ

右將ニ虚實ヲ見辨ヘ虚セハ母ヲ補シ實セハ子ヲ瀉スヘシ

面部

面證五藏ノ辨 左ノ顙ヲ肝トナス 右ノ顙ヲ肺トナス

額ノ上ヲ心トナス 鼻ヲ脾トナス ヲトガヒヲ腎トナス

若シ其所ニ赤色ヲアラワサハ其藏熱スルト知ルヘシ

眼

目ノ色ノ分別 赤キ者ハ心熱也 導赤散 ヲス 紅トルハ心

ノ虚熱生犀散 青キ者ハ肝熱也 瀉青丸 ヲス 青キハ

地黄丸ニテ補ヘ 黄ナルハ脾熱也 瀉黄丸 白ク濁ル

ハ肺熱ナリ 瀉白散 精光ナキハ腎虚ナリ 地黄丸

時生

見生ル、時急ニ新綿一テ口中ノ惡物ヲノコエハ長ク病

ナシ若シノコワズメ吞ミ下セハ百病ヲ生ス

見生テ益母草ノ煎湯ヲヨキカンニメアビスレハ瘡ヲ生ゼス

見生テ湯ヲアビスルニヨキカンニ無レハ五藏ノ病ヲ生スル也

兒ノ臍ノヲ落ザル間ハシキリニ湯ヲアヒスヘカラスシキリ

ニアヒスレハ臍中ヨリ水イリ臍風撮口ヲ病ム

兒生レテ五根湯ヲアヒスレハ一卅ノ間瘡生セス五根湯
トハ柳桃棟梅槐ノ根ナリ

生レテ暫クノ間ハ父母ノキヤブリタル古ワタヲキセヨ父母
ノ餘氣ヲ得テヨシアタラシキ綿ヲキセヘカラス天氣アタ
タカニ和シ風吹サル時ハ日色ノ麴ニイダキ出テ遊フハ
シ層モカタク氣モ強ク成ル風寒ニ侵レガタシモ帳中
ニカクシ衣ヲ重子強クアタカシハ陰地ニ生スル草木
ノ如シ風日ヲ見サレハ弱クメ風寒ニタテサレガ如シ

臍風撮口

兒生レテ七日ノ内齒クキノ上ニ粟粒ノ如ク
十ル物イデキ啼テ乳ヲノマサルヲ臍風サツカフト云ナリ
子リ縮ヲヌル湯ニヒタシ指ヲツヽミツロリトスリヤラレ

乳母之謹

ハ口開キ安シカクノ如クセサレハ忽チ死スルナリ
兒生レテヨリ三年ノ間ハ全ク母トヲキトノ慎ミニナリ能
調レハ和シ調サル時ハ違ス 怒テ乳ノマズレハ兒狂邪
ス醉テ乳ノマズレハ驚癇ス姪テ乳吞スレハ疳瘦ス病テ
乳ノマズレハ異疾ス飽テ乳ノマズレハ熱喘ス房後ニ乳
ノマズレハ多病ナリ

變蒸

小兒胎内ニ有テ骨氣藏府ヲ生シ生レヒ未全ツナワラス
生テ後即骨脉臟腑神智等ヲ長ス變蒸トハ内ヨリ長シ
下ヨリメサリ又自ラホトヲル也生テヨリ卅二日ニメ一
變ス變終ル毎ニ少前ニ替ル也變ハ易也如此十周スレハ
小蒸ヲワル計ニ三百廿日也此時皆骨氣ヲ生スル事全シ
一變ノ腎志生ス 二變ノ膀胱生ス 三變ノ心喜生ス

大壽

四變ノ小腸生ス 五變ノ肝呼生ス 六變ノ膽ヲ生ス
七變ノ肺聲生ス 八變ノ大腸生ス 九變ノ脾智生ス
十變ノ胃生ス
カクノ如クメ後齒生シモノイ、喜怒ヲ知ル此時ノ治ハ
汗ナク熱セハ汗ヲ發シ大ニ吐セハ少下セ別治スヘカラス
小兒ノ壽相大相 凡兒三歳以上十歳以下其性氣ノ高
下ヲ見テ即壽夭ヲ知ヘシ 兒幼キ時識悟通敏ニ人ニ
スクレタルハ必大相ナリ 兒ノ骨法ヨク調リ心ノ計リク
ハリノヒヲツク人ヲツイヤスハ是壽相ナリ 兒ノ陰大ニ
シテ黒ク身ノ色ニヒトシキハヨシ 兒ノ陰大ニメ白キ者
ハ必アシ、 黒眼大ニ白眼少ク面黒ク眼中ノ黑白分
明ナルハ壽相也 白眼大ニ黒眼小面白ハ大相ナリ

雜説

預シメ人ノ心ヲシリ身輕ク力弱キ者ハ育テ難キ子也
雜説 ヲチ母イ子ムリ口鼻ノ息ニテ兒ノ顛門ヲ吹ハ兒ノ
鼻塞カル 兒ノ未皮膚不調ニ衣裳ヲ火ニテアフリテキ
スレハ走り草ノ類ヲ病ム 兒ノ衣裳ヲ以テ月下ニサラ
シ悪鳥ノ糞カ、レハ病ヲ生ス 惡相異物ニテ愛ノアツ
ハシムレハ遂ニ驚忤ノ病ヲ生ス 惡血ヲ吞テ曾ニ有ハ
甘草ノ煎汁テ可吐惡血腹ニ入ハ黃連ノ煎汁ニテ可吐
痘疹 瘡疹ハ是母ノ腹中ニ有テ請ル所ノ穢毒兒ノ臟
腑ノ中ニカクレ時令ノタ、シカラサル折節痘疹ヲ煩也
千金ニ曰兒初テ生レタル時生地黃ノ汁ヲノ、セテ黒
工ノ物ヲ下セハ老人ト成マデ痘疹ノ苦シミナシ今ノ
人皆是ヲ用ス抑亦目前ヲカエリミテ後患ヲ思ハス

瘡疹

瘡疹

小兒ノ身熱シ耳ノヒエ尻ヒエ咳スルハ必痘疹ナリ
痘疹五藏ノ異 噦シ煩悶スルハ肝也 時ニ驚悸ヲ發スル
ハ心也 乍涼乍熱シ肢冷ハ脾也 面目頰赤ク咳シ鼻
ヒレハ肺也 腎ハ下ニ有テエヲ稟テ瘡ノ黒者ハ腎ニ屬ス
瘡疹之發出二三ノ逆順有リ

春夏ハ陽氣發生ス此時ノ瘡疹ハ順也 是時之逆順
秋冬ハ陽氣伏藏ス此時ノ瘡疹ハ逆也

二便秘ノ能食スル者ハ實トナス順也 是虛實之逆順
二便利ノ不食スル者ハ虚トナス逆也

凡瘡シテ出安キ者ヲ順トナス 是出入之逆順也
タレクボク底ニカクルハ逆トス

傷寒ノ熱表ニ有ルトキ下スヘカラストハモシ裏虚セハ汗

ヲ出メサムル事ナレバシ氣ヲオツル、故也痘疹發熱表
ニ有テ膿痂ヲムスフ心先其裏實スル事ヲ得サレハ外
ニサニ陥伏セス病ニ輕重有リ藥ニ淺深ヲ別ツヘシ病
深ノ藥アサケレハ病サラス病淺クノ藥フカケレハ眞氣
ツイエヲウクキヤウ重ヲ見分テ是ヲ治スヘシ

輕 三次ニイデ大小一等ナラス 頭面ニ少シ 善相
眼中ニナシ根窠紅ナリ 肥滿ノ光澤ナリ

重 一度ニ出テ蠶種ノ如シ白ノ灰ノ色稠蜜 惡相
熱ノ渴ス身温ニ腹脹レ頭温ニ足冷

夫瘡疹ハ身俄ニ非常ノ熱ヲツ、ミ肌表ニ發シ蒸テ瘡疹
トナル其熱隨フ時ハ出安ク毒散スル也其熱過ハ目ヲ損
喉痛ミ目クメキ狂ス若シ其熱ヲ押ヘ過レ寒レハ或ハ陷

伏し黒ククボム或ハ大傷ス故ニ能醫スル者ハ其熱ニ隨工
トモ熱シ過ルニ至ラス其熱ノ甚シキヲオサエテモ寒ルニ至
ラス適中スルノミ 小兒頭痛シ身熱シ口鼻熱シ喉カワキ
痛三口イキシ瘡ヲ生シ兩ノ目火ノ如ク耳ノトカリト手足
ノ指トノ寒ル面赤ク渴シツヽ口サムク胃逆熱シ口臭ク昧
大ナルハ是瘡疹ヲカクス故也大黃ニテ其熱ヲ下シ去ヘシ
其熱散ノ諸疾イユ俗醫巴豆輕粉ノ類ヲ用テ藏ヲヤフル
能慎ムヘシ大ニ熱セハ小便ヲ利スヘシ導赤散少シ熱セハ
毒ヲ解セヨ消毒散是ヲ下シテ後惡寒不止身ヒ汗出テ
耳ノシリ正熱スル者ハ死ス瘡フタノカシラ焦レスシ喘ノ實
セハ下スヘシ身熱シ煩渴シ腹滿シ喘ノ二便シフリ面赤ク
モタ正吐セハ小便ヲ利スヘシ導赤散

疹痘之禁忌

房事雜食冷水涼藥香臭ヲカク事風寒
先曾テ瀉スル事産婦孝子生シ人ヲ見ルコト痘疹黒カ
ラスハ必下スヘカラス

疹諸

疹ハ脾胃ノ病ナリ身ノ潤ヒツキテヲコル所ナリ大病ニヨ
リ或ハ吐瀉ノ後或ハ藥ニテ汗下メノ後脾胃虚シ津液亦
ロビテ生スル也 凡目シフリ眼シラケ唇赤ク身黄ニ乾キ
或ハ黒ク好テ冷地ニ伏シ或ハ泥土ヲ食シ身ニ瘡イテ青ク
白ク黄ナリアワヲ下シ痢ノ色シゲク替リ腹フクシ耳鼻ニ瘡
イテ髮赤ク頭大ニメクビ細ク極テ瘦水ヲノム是皆其證也
肝疹ハ白マケヒトミヲサイギル地黄丸 心疹ハ面黄ニ
頬赤ク身熱ス安神丸 脾疹ハ體黄ニ腹大ニメ土ヲ食
ス益黄散 腎カシハ極メテヤセ身ニ瘡疥生ス地黄丸

積蟲

筋痺ハ血ヲ瀉シ瘦ス地黄丸 骨痺ハ好テ冷地ニフス
地黄丸 痺内有レハ目ハレ腹フクレ痢ノ色ツ子ナク
或ハ沫ヲ下シ或ハ青白ヲ瀉シ漸クヤセヨワルハ冷ナリ
カン外ニ有レハ鼻ノ下爛シ白ヲ鼻ノサキヲヒ子リ瘡有
テフサガラス耳ノマワリニ瘡生ス
凡痺ヲ治セハ冷熱肥瘦ヲ辨セヨ 其始テヤム時ハ肥熱
ノカントナス胡黃連丸 久病ナラハ瘦冷ノカントナスヘ
シ木香丸 兒ノ初病津液少キ者ハ必胃液ヲ生スヘシ
白朮散ヲ多ク用ヘシ妙ニウルホイヲ生ス
積痛蟲痛ノ辨 口ノ息アタカニ面黃ニ白ク目ニ精光
ナク或ハ白眼多クフカクイ子ムリ食ヲオツレ大便酸臭
クハ積ノ痛三十リ消積丸

腹脹

面シラケ腹痛ミロヨリ沫ヲ吐ス水ヲ出シ時ニ痛ムハ蟲
ノ痛三十リ安蟲丸
小兒腹脹ノ諸因 腹フクレ悶亂シ喘滿スル者ハ下スヘ
シ白餅子ヲ用ヨ腹フクルトモ喘セスハ下スヘカラス虚
證ナルヘシ虚ノ腹脹ヲ治スルニハ塌氣丸ヲ用ヘシ其二
モ愈スノ食積結糞ヲツテ小便黃ニ微喘シ脉伏實ノ水
ヲノミ能食スル者ハ消積丸ニテ下スヘシ小兒虚シ安タ
實シ安シ脾虚ノハ寒ニモ温ニモ早クタハリ安シ寒ヲ服
スレハ冷病ヲ生シ温ヲ服スレハ熱ヲ生スルナリ將ニ此
要ヲ知ルヘシ

搐搦

小兒ノ搐搦スルニ時分ヲ以テ病源ヲ知ルノ論 寅卯辰
ノ刻病發リ身熱シツラ目ツカイノ手ヲヒクメカシヨダシ

驚風

急驚風慢驚風之二證

大聲ヲ聞或ハ大ニ驚テ搐ヲ

子ハリウナシ強リ子マハ是肝旺スルノ病也瀉青丸ニ
 テ肝ヲ治シ地黄丸ニテ腎ヲ補ベシ 巳午未ノ刻病發
 リ手足ヲビクメカシ神驚キ白眼赤ク齒ヲクイツメヨダ
 シイテ熱スルハ是心旺スルノ病也導赤散ニテ心ヲ治シ
 地黄丸ニテ肝ヲ補ヘシ 申酉戌ニ病發リ強クハビク
 メカスノ喘シ眼ナメニソ身熱シ子イリテモ眼ヲアギ手
 足ヒエ大便ニウスキ黃水ヲ瀉ス是ハ肺旺スルノ病ナリ
 瀉青丸導赤散ニテ心肝ヲ治シ益黃散ニテ脾ヲ補ヘシ
 亥子丑ノ時病發リ強クヒクメカス卧テ靜ナラス身温ニ
 眼ナメニ見喉ニ痰アリ乳食消セス大便シラケ色ニソ
 多ク眠ルハ導赤散ニテ心ヲ治シ益黃散ニテ脾ヲ補ヘシ
 發シサムル時ハ本ノ如クナラハマサニ下スヘシ利驚丸
 兒心ノ急驚風ハ心ノ熱スルニヨル身熱シ面赤ク渴シ
 口ノイキ下ツクニ便黃ニ赤ク甚シキ則ハ搐ス利驚丸
 兒心胃ニ熱痰客ナリ非常ノ大聲ヲ聞動シテ驚搐ス
 熱極レハ大聲フ不聞ト雖ハ必驚搐ス病後ニヨリ或ハ
 吐瀉ノ病ニヨリ脾胃虛シ身冷口鼻ノ息ツメタク手足
 時ニビクメキ昏睡セシメテ眼開クニハ温白丸ヲ用ヘシ
 傷風ノ治例 風ニ傷レ手足冷ルハ脾ノ弱キナリ益黃散
 ヲ用テ其後發散スヘシ 風ニ傷レテ自利スル脾ノ弱
 也益黃散ニテ脾ヲ補フ其ニモ愈スハ風ヲ發散メ猶ヲ
 愈スハ調中丸ヲ用ヘシ 風ニ傷レ腹フクシ煩ハ脾ノ虛
 ナリ喘セスマサニ脾ヲ補ヘシ其後發散セヨ 風ニ傷レ

傷風

別辨

多ク眠リ能食乳シ水ヲノミ痰ヲ吐キ大便黄ナルハ是
胃熱ノ渴シ吐瀉スルナリ先多ク白朮散ヲ頻ニ用テ其
後大青膏ヲ用ヨ 風ニヤブラレ沫ヲ吐キ青白ヲ瀉シ
悶亂ノ渴セス長イキツキ子イッテ眼睛ヲアラワシ身涼
シクハ益黄散ニテ脾ヲ補イ其後散スヘシ

傷寒ト痘疹トヲ見ツキマエヨ 傷寒ハ男子ナレハ體重ク
面黄ニ女子ナレハ面赤シ喘急惡寒シ口ノ息アラクア
クヒシ煩悶シウナシヒキツル必發サンスヘシ

痘疹ハ頤赤ク多ク鼻ヲヒムナサワキシ昏健ニメ手足ヒ
ユ温平ニテ治スヘシ 瘡トハ即痘瘡也疹トハハシカ也

吐瀉

小兒ノ吐瀉時ニ隨テ治スルノ論 初テ生シ落テノ吐ハ
口中ノ惡物ヲノコイツクサスノ喉ノ中曾ニ有故ニ

木瓜丸ヲ用ヨ生テ三日ノ内ノ吐瀉壯熱ノ乳吞
大便消セスシラケ色ナルハ是乳傷ナリ白餅子ニテ下
スヘシ其後益黄散ニテ胃ヲ和セヨ 夏至ノ後十日以
後ノ吐瀉ノ身熱ニハ竹茹湯ヲ用ヨ 大暑ノ節ノ後ノ
吐瀉身アタカナルハ五益散ニ桂ヲ去ル 立秋ノ七
日已後ノ吐瀉身温涼ナラハ先ニ氣散ヲ用テ吐止テ
後異功散 秋分ノ後ノ吐シヤハ身冷テ陽ナシ益黄散
ヲ用ヨ乳ヲ吐シ黄色ヲシヤシ煩ハ熱乳ニヤブラル玉露
散竹茹湯ノ類ヲ用ヨ乳ヲ吐シ青色ヲシヤスルハ冷乳
ニヤブラル益黄散ヲ用ヨ

嗽

小兒咳嗽療治之分別 八九月肺氣旺ノ嗽スルハ必ス
實ハ面赤ク痰盛ニ身熱セハ葶藶丸ニテ下スヘシ

十一月十二月ノ咳嗽ハ風ニ傷ル、ナリ肺ノ俞ヲ灸ス
ヘシ麻黃湯ニテ汗ヲ出スヘシ痰盛ナラハ先脾ヲ實メ
後ニ補銀丸ニテ下セ熱メ面赤ク水ヲノミ涎レ喉ニ有
ハ其桔湯肺盛ニメ效レ後ニ喘シ面ハレ水ヲノミ身熱
セハ瀉白散ヲ用ヘシ嗽シテ水ヲ吐シ綠水ヲ下メスヲハ
百祥丸ニテ下ス嗽メツミ血ヲ吐ハ即肺熱也食後ニ其
桔湯ヲ用メク嗽メ津液ツクルニハ阿膠サンニテ補ヘ
凡咳ヲ治スルニ盛ナラハ即下スヘシ久咳ナラハ即補ヘ
シケラニ虚實ヲハカツテ加減セヨ

胃

小兒之驚風或ハ泄シヤ或ハ疹痘ノ諸病ノ煩渴ハ皆津
液内ニツクルノ病ナリ白朮サンヲノミ數多用ヘシ

食乳

小兒乳食養時ノ辨 凡小兒アマリニ愛メ三歳ニテ食ヲ

瘡口

與ヘサレハ脾胃虚シテ病多シ生レテ後半年以後ハ限
米ノ粥ヲクワセヨ十月以後ハ粥飲トモニクワセヨ中氣
ヲタスクル心ナリ生冷ノ物油膩ノ物其キ物ヲ忌ム
兒ノ口瘡ニハ大ナル天南星ノ皮ヲサリマシ中ヲクリ取テ
末メヨキ醋ニ子ヤシ足ノウラニ付ヘシ

欠呵

小兒呵欠五歳之分別 アクヒメ面赤クハ風熱心也アク
ヒメ面青ハ驚風肝也アクヒメ多睡ハ内熱胃ニ有也ア
クヒメ面黄ハ脾ノ虚驚脾也アクヒメ息熱ハ傷風肺也

雜證

小兒雜證之屬スル所 目赤ク青ハ搐ヲ發セントス目見
ハリ青ク身スクミツルハ驚ナリ 牙ヲカム事ノ甚シキモ
驚 口ヨリ水ト沫ヲ吐クハ蟲痛也 痰沫白綠水ヲ吐
ハ胃ノ虚冷 子ハキ涎血ヲ吐ハ肺熱也久ケレハ虚ス

水ヲ吐キ心痛セサルハ胃冷 黄赤黒ヲ瀉スルハ皆熱也 青白ヲ瀉シ穀化セサルハ胃中ノ冷也 吐瀉昏睡ノ睛ヲアラハスハ胃ノ虚熱白朮散 吐瀉昏睡ノ睛ヲアラフサ、ルハ胃ノ實熱玉露散 吐瀉ノ乳化セサルハ傷食ナリ消積丸 身熱シ水ヲノマサルハ熱外ニアリ身熱シ水ヲノムハ熱内ニアリ 五六歳マテ物ヲイワサルハ心氣ノ不足ナリ菖蒲丸 成仁ノ行歩ナラサルハ肝腎虚ノ筋骨弱ニ羚羊角丸 成仁ノ齒生サルハ腎虚也地黄丸補腎圓ヲ數日多ク服スヘシ 生シテヨリ又ク髮生セス生ノモ黒カラサル者ハ腎ノ衰勞スル故也地黄丸 尿ノカク黄ナルコト久ケレハ尿血ス五苓散 尿通セサル事久シケレハ脹滿ス捻頭散 心痛ノルヲ

吐スルハ蟲痛ナリ安蟲丸 心痛ノ水ヲ吐セザルハ冷心痛ナリ理中丸

不

小兒諸病不治之證

目中赤筋ヒトミヲツラヌキヲ一リ

ガミ高ク腫レ及ビヒキクボミ鼻カワキ黒ハ肺ノ絶也 魚ノ口ノ如クツツケ開キ氣喘メ止ラス多ク蟲ヲ吐ハ胃中ノ穀氣絶スル故也大ニ渴シ是ヲ止テモ又渴スルハ腎 傷レ病重ク口乾キ睡ラサルハ胃絶シ腎カワクナリ唇ノ上ニ青ク黒キ点テルハ脾絶ナリ頬フカク赤キハ心氣ノ虚敗ナリ鼻ヒラキハルハ肺ノ敗ナリ喘急止サルハ肺絶ノ氣逆上シ出ル事アツテ入ル事ナキナリ

小兒之治方

導赤散 心熱ヲ治ス 生乾地黄 木連 甘草 各等分

右 礪末シ每服二錢竹葉七片ヲ入煎シ服ス一方ニハ
甘草十クシテ黄芩アリ

生犀散心ノ虚熱ヲ治 地骨皮 赤芍 柴胡 乾葛各一兩

甘草兩半 生犀屑末二錢 右 礪末ノ煎イ食後ニ温服ス

瀉青丸肝熱ノ急ニ驚搐スルヲ治ス

菴活 大黃 川芎 枳子 龍膽 當歸 防風各等分

右末ノ煉蜜ニテ丸シ竹葉湯ニテ用ヘシ

瀉白散喘咳面腫身熱スルヲ治ス 桑白皮炒一兩

甘草炙半兩 地骨皮焙一兩 粳米粒百粒 右剉煎ノ食後ニ温服

瀉黃散脾熱ノ舌ヲ弄スルヲ治ス 藿香七錢 枳子一兩

石膏兩半 防風兩二 甘草七錢半 右剉煎ノ温服スヘシ

地黄丸肝腎ノ虚ヲ補

熟地黄八錢酒洗焙 山茱萸 山藥各四錢 澤瀉 牡丹

白茯苓各三錢 右末ノ蜜ニテ丸シ温水ニテ下ス

益黃散脾胃ノ虚冷ヲ治ス 陳皮一兩 青皮 甘草炙各半兩

丁香二錢 右 礪末ノ煎シ食前ニ温服ス

白朮散積痛ヲ治シ專ラ胃ヲ和シ津液ヲ生ス

人參 白朮 木香 白茯苓 甘草炙 藿香各一兩

乾薑兩二 右剉煎ノ温服ス若水ヲ多ク吞ハ多ク服スヘシ

三豆飲天行ノ痘疹ヲ治スモシ此證有ハ即服スヘシ

赤小豆 黑豆 菘豆各一升 甘草節五錢

右洗清クメ煮熟シ意ニ任テ豆ヲ食シ汁ヲノムヘシ

危亦林ガ曰三豆飲ハ血ヲ治シ毒ヲ解ス若シ其ノ里ノ

近所ニハヤラハアアラカシメ是ヲ服スレハウラス既ニウ

疹瘡

ツルニ是ヲ用シハ輕ク解ス未ダツツラサハニ七日服ス
レハ必ウツラス或説ニ曰ク冬天強ク温テラハアヲカシ
メニ豆飲ヲ與ヘテ來春ノ發疹ヲ防ケ

升麻葛根湯寒温疫風熱頭シ手足痛瘡疹既ニ出テ痛
未出サレニヨシ 乾葛 升麻 白芍藥 甘草各等分

右剉煎ソ温服スヘシ 奇効良方ニ曰凡瘡疹ハ是レ蘊
熱ノ毒ナリ葛根ハ熱ヲ解シ升麻ハ毒ヲ去ル病ハ熱ソ
藥ハ寒ナリ冷熱相タ、カフ時芍藥ハ時行ノ寒熱ヲ治
シ血脾ヲ治ス痘ヲメ出ヤスカラシメ又小便ヲ利ス痘疹
ハ大ニ熱スル故ニ小便ヲ利メ吉サテ甘草ハ此ニ種ヲ
調和ス四ノ物毒ヲ解シ熱ヲ治シ榮衛ヲ調理シ誠ニ
疹痘ヲ治スルノ要藥タリ

紫草枳殼湯痘疹イデ心ヨカラス倒靨ヲ治ス 紫草茸 枳殼醋炒

木通剉小 枳殼寬大腸 炒 甘草炙 右等分剉煎温服ス

ヲホム子壅瘵スレハ榮衛ユカズサラリト出スノ即倒靨
ス枳殼ニテ大腸ヲユルクシ木通ニテ小腸ヲ利ス紫草
ニテ竅ヲナメラカニシ心腹ノ蘊邪ヲ治ス故ニ出安シニ
便秘シテフラハ必用ヘシ

犀角地黄湯瘡疹出テ甚盛ナルヲ治ス 犀角兩

生地黄半斤 芍藥三分 牡丹皮兩 右剉煎レ服ス

熱狂セハ黃芩ヲ加ヨ若又脉遲ナラハ熱ナシ芩ヲ加ヘス
活人書ニ曰傷寒ニ汗ヲ發スヘキニ汗ヲ發セスノ内ニ
瘀血アレモノ及鼻衄吐血ツキスノ内ニ瘀血ノコリ面
黃ニ糞黒キヲ治シメ瘡疹ノ甚シキヲ治ス

紫草散清便自調ハ用テ疹ヲ發セヨ

黄芪 糯米モミ 紫草 木通 甘草 右剉煎シ服スヘシ

先麻疹ヲ出シ又痘疹ヲ發シ瘡黒ククホム時是用テ清

便自調故ニ枳殼ノ入タルハ用ス

黍粘子湯癩疹身表ニテ出カギリナク多キ時用テ青ク乾

キ黒ククホマン事ヲ防ケ 黍粘子炒 當歸

甘草灸各一錢 柴胡 連翹 黃芩 黃耆各一錢半

地骨皮錢二 右剉煎シ服メ乳食ヲ與フヘカラス

消毒散疹既ニ出テ未出テス痰アツテ喉ノ痛ムヲ治シ曾

ヲ涼ス 牛房子兩一 甘草灸半兩 荆芥分一

右剉煎シ服ス 若シ壅氣ト、コホヲリ熱ノ出カタクハ

防風休 麻ヲ加ヨ若シ大便秘セハ用ス

門冬散痘既ニ出テクボミ發熱煩渴スルヲ治ス

麥門冬兩一 人參 甘草 陳皮 白朮 厚朴各半兩

右剉煎メ温服ス

蒺藜散疹痘目ニ入ヲ治ス 蒺藜炒 甘草灸 羌活

防風各等分 右細末メ水ニテスリタテ、用ヘシ

如聖散疹痘初テ出ハ急ニ服セヨ氣調レハ出安シ

紫草二兩滑竅去心腹邪 陳皮一兩快氣 葱白三兩開

右剉煎シ温服ス乳兒乳母トモニ服セヨ

化毒湯疹痘ステニ出テ未出サルヲ治ス 紫草 升麻

甘草灸各半兩 糯米粒五十 右干サニ煎シ温服ス

劉氏力傳ニ曰痘疹出ナントノ渾身壯熱ノ不食スル時コ

シヲ一服用シハ即内消ス既ニニツ三ツ出テ將一日ト

頭トコガレハ三服ニメ愈ユ

升麻黄芩湯瘡疹サライト出カタク煩燥ノイ子ムル事ヲ工

サレヲ治ス 升麻 黄芩 甘草炙

右等分煎メ温服スヘシ

四順散瘡疹ニ四五日大便結シ瘡モ又盛ニ出テ喘急腹

脹メ小便赤キヲ治ス 大黄 甘草炙 當歸各等分

右煎メ温服ス

黑豆湯疹トウ未ダウマス心膈カワキ子ムラサルヲ治ス

黑豆ノ煮汁ヲ用テ漸々ニ服ス

黄連散疹トウノ毒氣ユミアゲテ口舌ニ瘡有ヲ治ス

黄連一味ヲ煎メ服ス

竹葉湯瘡疹トウロサムカラス只煩燥シテ小便シブリ多ク

渴シ赤斑点ノ物ヲ治ス 石膏四兩 知母二兩 麥門冬

甘草各一兩 右煎竹葉ヲ入テ煎シ服ス

黄蘗膏疹瘡既ニ出ハ是ヲ用面ニ又ルヘシ 黄蘗一兩

新葶豆一兩 甘草四兩 右細末メ生油ニ調テ耳前

ヨリ眼眵ニイタツテアツク是ヲ又ルヘシ日ニ三度

胡荽酒ヨクケガラハシキヲサケ瘡疹ヲ出ス

胡荽四兩ヲ煎先酒ニ盞ヲ用テ煎シ一沸メ胡荽ヲ入

又一沸メ能フタヲメサマス常ニ一二度口ニフクミセテ

カヨリ足ニイタツテ是ヲ吹ツハクヘシ面ニ吹ヘカラス

四物湯疹瘡ノ後毒氣眼ヲ攻或ハハケヲ生シ赤キ筋サシ

出ルヲ治ス 地黄二兩 川芎 當歸各一兩 芍藥一兩

右煎シ服スヘシ荆芥二兩ヲ加テヨシ

疹痘ノ黒ククボムヲ治ス

人ノ牙齒ヲ灰ニ焼キノ湯ニテ服ス

痘疹ノ目ニ入ヲ治ス

黒狗ノ耳ニ針ヲタテ血ヲ取テ眼ニ入ヨ瘡毒自ラ散ス

痒 木香圓瘦テ冷タル痒病ヲ治ス 木香 青黛 檳榔

肉豆蔻各一 麝香別研一分 續隨子一兩去油

蝦蟇三箇燒存性 右末ノ蜜ニテ丸シ食前ニ薄荷湯ニテ下

胡黃連圓肥テ熱シタル痒病ヲ治ス

胡黃連 黃連各半 辰砂別研一分 蘆薈 麝香各一分

右末ノスツテ飯ニ和シ丸ノ米飲ニテ下ス

黃連圓骨蒸痒勞肌體黃色ノ瘦タルヲ治ス 木香兩半

黃連 生地黃 青皮 柴胡 鼈甲塗童便炙各一兩

右末ノ丸レ米飲ニテ下ス

肥兒丸 消ヲ消レ食ヲス、ム 黃連 神麴 麥蘖各一

史君子 肉豆蔻各半 木香 檳榔各一

右末シ麴ノ糊ニテ丸シ空心ニ飯飲ニテ下ス

史君子丸 藏府虚滑シ痒瘦下痢シ腹脇脹滿スルヲ治ス

常ニ服スレハ胃ヲ補痒ヲ消メ兒ヲコヤス

厚朴製 甘草炙 訶子半生 陳皮各半

史君子分 熟ノ麴ヲ去ル 右抹シ丸ノ乳汁ニテ下ス

二聖圓 久シク瀉ノ痒瘦スルヲ治ス

黃連 黃蘖各一 右ツツメ丸シ米飲ニテ下ス

橘連圓 痒瘦ヲ治シ食ヲ消シ氣ヲ和シ肌肉ヲ長ス

陳皮 黃連各等 右ツツシ丸ノヘイニテ下ス

分氣丸疳ヲ治ス 木香二錢 黑牽牛生

右ツツノ麵ノ糊ニテワシヘイ飲ニテ送下ス

五疳保童圓五カンヲ治ス 青黛 五倍子生用 蘆薈研別

夜明砂布裹洗去沙土 龍膽 干蟾炙 棟根皮 麝香研別

蕪荑 蟬殼去土各等分

右末ノ粟粉ノ糊ニテ丸シ米飲ニテ下ス

蘭香散疳ニ依テ鼻ノ下赤ク爛タルヲ治ス

蘭香葉菜名二錢燒灰 銅青半錢 輕粉半錢

右末ノタダレタル所ニ捻リカケヨ

白粉散カンノ諸瘡ヲ治ス 烏賊骨末三 白芨二

右末ノ清漿ニテ洗ヒ拭イ乾メ付ヨ

溫白圓脾困弱瀉シ瘦テ冷タルカンヲ治ス

天南星一分 天麻半兩 白薑蠶炮 白附子生

全蝎去毒各等分 右末シ麵ノ糊ニテ丸シ米飲ニテ下ス

金瓜丸小兒壯熱シ黄ニ瘦オヨヒ疳熱ヲ治ス 黃連

黃栢 甘草炙 陳皮各等分 右末シ丸ノ米飲ニテ下ス

小兒ノ鼻ノ下赤ク爛タルヲ名付テ蠶蟲ト云黃連ノ末ノ

捻リカケヨ

蟲安蟲圓上焦中焦虛シ胃寒蟲ヲコリ痛ムヲ治ス

乾漆二分炒出烟 雄黃 巴豆各一錢 右ツツノ麵ノ糊ニテ

丸シ棟根湯ニテ下ス又東ニ指タル石榴根湯ニテ下ス

安蟲散蟲動シ心痛スルヲ治ス方ハ諸蟲ノ部ニ有リ

靈礬散小兒蟲ヲコリ脅脇ニカミツキ痛ミ死セントスルヲ

治ス是ヲ用レハ蟲ヲ吐ス

五靈脂 末二錢

白礬 枯半錢

右末ノ熟ニテ調服ス

消食圓 虻蟲ヲ治シ智ヲコノロヨクシ食ヲスハム

縮砂 陳皮 三稜 莪朮 神麴 麥芽 各半兩

香附子 一兩 右末ノ麴ノ糊ニテ丸シ白湯ニテ下ス

脹 塌氣圓 虛脹ヲ治ス 胡椒 一兩 蝎尾 半兩 去毒

右マツノ麴ノノリニテ丸ス陳米飲ニテ下ス腹大ナラハ

蘿蔔子 兩 ヲ加テ丸ス鹽辛キ物生冷ノ物ヲイム

驚 安神圓 邪熱アツテ驚啼シ心疳面黃ニ頰赤ク壯熱スルヲ

治ス 麥門冬 馬牙消 白茯苓 山藥 寒水石

甘草 各半兩 辰砂 一兩 龍骨 半兩

右末シ蜜ニテ丸シ沙糖水ニテ下ス

利驚丸 功能ハ安神圓ノ如シ

天竺黃 二錢 輕粉 青黛 各一錢 黑牽牛ノ末 半兩

右スリ交テ蜜ニテ丸シ薄荷水ニテ食後ニ下ス

獨活湯 小兒ノ風癩ヲ治シ表ヲ解シ裏ヲ通ス 獨活

麻黃 川芎 各一錢 大黃 甘草 各半兩 右判煎メ温服

地骨皮散 兒ノ虛熱潮作ヲヨビ傷寒壯熱ヲ治ス

知母 柴胡 甘草 灸 人參 地骨皮 赤茯苓

半夏 各等分 右判煎シ食後ニ温服ス

小柴胡湯 傷寒身熱ニ頭痛ニ項強手足イキシ往來寒熱

シ嘔噦シ痰實シタル瘧ヲ治ス 柴胡 一錢 半夏 一錢

人參 各三錢 甘草 右蠶末メ煎シ温服ス

葶藶丸 傷風咳ニ面赤ク身熱シ痰盛ニ喘促ヲ治ス

葶藶 土器中隔紙炒 黑牽牛 炒 杏仁 炒別研 茯苓 各一兩

右末ノ杏膏ヲ入蒸棗ノ肉ヲ和丸ノ生薑湯ニテ下ス

麻黃湯傷風熱ノ咳喘シ汗ナキヲ治ス

麻黃製三錢 桂二錢 杏仁七箇 甘草炙一錢

右末シ煎メ服ス自汗ノ者ニハ忌

犀角圓兒風熱ニ痰實シ面アカクニ便秘澁シ三焦邪熱

藏府ノ蘊毒ヲ治シ疎導スル事極メテヤソラカナリ

人參 檳榔各半 生犀角一分 黃連一兩 枳實一兩

大黃二兩 酒浸皮ヲ去タル巴豆粒白 粒白 大黃ノ上ニ並ヘトヲシ

上ニ置飯ノ上ニテ二度蒸メ炒テ黄色ニシバ豆ヲ去ヘシ

右末ノ蜜ニテ丸シ臨卧ニヌルユニテ下又大人姓者ニ用

玉露散熱ニヤフラシテ黄色ヲ吐瀉スルヲ治ス 石膏

寒水石各半 甘草生一 右抹メ食後ニ湯ニテ調下ス

嘔吐

異功散中ヲ温メ氣ヲ和シ吐瀉不食ヲ治ス凡小兒冷世

ハ先數服ヲ與テ氣ヲタタセ 人參 茯苓 白朮

甘草炙 陳皮各等分 右剉煎シ食前ニ温服ス

人參散虛熱シ吐瀉ノ煩渴止サルヲ治ス 人參一兩

茯苓二兩 生犀角 桔梗各二錢 甘草 乾葛各半

右細末メ燈心湯ニテ下ス煩渴強クハ竹葉湯ニテ下ス

梓朴散吐瀉シ胃虚メ及痰驚ヲ治ス 厚朴一兩 半夏一錢

右同米泔三升ニ百刻ヒタシ炒リ乾シ朴ヲサリ半夏ヲ

取テ末メ薄荷湯ニテ下ス

益脾散小兒ノ吐瀉虛弱ヲ治シ脾胃ヲ調フ

人參 白朮 茯苓各一錢 陳皮 厚朴各七分 木香

甘草各三分 右剉煎シ食前ニ服ス

木瓜丸生レヲキテ吐スルヲ治ス 木瓜 木香

右末ノ麩ノ糊ニテ丸シ甘草ノ煎湯ニテ下ス

大青膏傷風吐瀉身温涼ノ熱スルヲ治ス

天麻 青黛各一錢 白附子半一錢 蝎尾去毒

烏蛇肉酒浸焙乾 辰砂 天竺黃 麝香各一錢 右同スツテ

蜜ニ和シ膏トナシ豆ホトツ、薄荷水ニテ下ス

嘔吐 黃連飲小兒ノ痢疾ヲ治ス 黃連 黃芩 大黃各一兩

甘草 右剉煎メ服ス 赤痢ナラハ紅花桃仁ヲ加ヨ

白痢ナラハ滑石ノ末ヲ加ヨ

黃栢圓小兒下血オヨヒ熱痢ヲ治ス

黃栢兩半 芍藥四錢 右末ノ飯ニ和レ丸メ米飲ニテ下ス

咳 阿膠散嗽ノ肺ニ潤イ無キヲ治ス 明阿膠半一兩

黍粘子一分 馬兜苾半兩 甘草半一錢 杏仁七

糯米兩一 右麤末シ煎メ食後ニ温服ス

百祥丸咳メ青色ナル水ヲ吐ヲ治ス

紅牙 大戟漿水煮去腎日乾焙

右末シ丸メ赤石脂ヲスリタル水ニテ下ス

渴 五苓散霍亂燥渴シ小便利セサルヲ治ス

澤瀉五錢 猪苓 桂心 赤茯苓 白朮各三錢

右末シ每服半錢水ニテ下ス桂ヲ去リ用テ尤妙ナリ

積癖 白餅子腹中ニ癖アリテ乳ヲ吞テ嗽涎アルヲ治ス

滑石 輕粉 半夏炙 南星各一錢 巴豆二十四箇炒黑

右末シモソ葱白湯ニテ卧時用ヘシ

油積圓食乳ニヤフラレ大便酸臭ヲ治ス

丁子九箇 縮砂十二箇 巴豆二箇 烏梅肉三箇

右末シ麩ノ糊ニテ丸シ温水ニテ下ス

方雜 其桂湯涎熱ノ咽喉利セケルヲ治ス

甘草炒二兩 桔梗一兩 白朮一兩 宿焙

右判每服二錢炒タル阿膠半斤ヲ入煎ノ食後二服ス

補銀丸風涎留ニ實シ熱ノ食消セス腹脹シ喘スルヲ治ス

巴豆製水銀各半 好墨八錢 燒醋 黑鈆二錢 半同水

麝香別研 右巴豆墨ヲ以テスリ交銀麝ヲ入陳米ノ

飯ニテ丸シ薄苛湯ニテ食後下ス

捻頭散小便通セケルヲ治ス 延胡索 苦練各等

右末ノ湯中ニ油數点ヲオトシ入テ調下ス

二氣散虛實冷熱ノ霍亂ヲ治ス 硫黃半兩

水銀一分 硫同 右同シクスリ合每服一字生薑水ニテ

下ス大小兒一切吐逆ノ諸藥ニテ驗シアラサケルヲ治ス

生犀麻汁毒氣ヲ消シ内熱ヲ解ス 生犀角

右一物膏ノ麤キ茶碗ノ中ニテスリヲロシ食後ニ温服ス

菖蒲丸心不足ニシテ五六歳マテモノ云ケルヲ治ス

石菖蒲 赤石脂各三錢 人參半兩 丹參二錢 天門冬一兩

麥門冬各一兩 右末ノ蜜ニテ丸シ温水ニテ下ス病後ノ

腎虛ニ依テ物云ケルヲ治ス

羚羊角圓腎虛シ或ハ病後ニ筋骨ヨク五六歳マテ歩マ

サルヲ治 羚羊角鎊末 虎脛骨破醋炙 生乾地黄焙

酸棗仁去皮 白茯苓各半兩 桂心 防風 黃耆各一兩

右末シ蜜ニテ丸シ食前温水ニテ化シ下ス

夜啼ノ甚シキヲ治ス

燈心花一顆

右カ子テ取テラク末ノ乳上ニ又ツテ吞せヨ

一方燈心ヲ灰ニヤキ乳ニ又ツテノマセヨ

一方小兒ノ臍ノ下ニ朱筆ニテ田ノ字ヲ一字カケハ良シ

龍髻散小兒ノ臍蒼カワカサルヲ治ス 明髻枯 龍骨等

右末ノ臍ノ中ニヒ子リカケヨ

桂辛散顛ノヒヲキ合せサルヲ治ス 桂心 細辛各一

乾薑半 右末ノ乳汁ニテトキ子ヤシ顛ニ付ヨ

小兒ノ耳ノ後ノ月蝕瘡ヲ治ス 黃連 白髻枯

右等分末ノ是ヲツケヨ

